



2022年4月15日

各位

株式会社DSG1

代表取締役 澤田 大輔

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社への投資について

当社のフューチャーベンチャーキャピタル株式会社（以下「FVC」）に対する投資の目的は純投資であり、そのスタンスは長期保有ならびに経営者との対話を重視することで事業理解を深め、共に企業価値の向上を目指すものであります。

FVCの「100年継続企業を創る」というミッションと、短期的な利益追求になりがちなベンチャーキャピタルのビジネスモデルを持続可能な取り組みにしようとする挑戦に共感し、FVCへの投資を通じて社会課題を解決する様々な企業が育ち、社会を良くしたいという目的で投資をしております。

FVCはリーマンショック後の非常に厳しい時代を耐え抜き、ZMP頼みのボラティリティの高い投機筋の会社から、国策としてのスタートアップ育成に地域金融機関や大企業を巻き込む新たなファンドサービスを開発する事で、長期的な安定収益基盤を確立すると同時に、ユニコーン予備軍や社会的インパクトを生み出す多様なスタートアップへの投資を積み重ねてきた現経営陣を高く評価しております。

同社の現在のファンド総額は240億円程度であり、地域金融機関や大企業の保有資産のエクイティ転換余地は限りなく豊富にあり、更なる事業拡大のフェーズに入った今、当社が保有する様々なネットワークやリソースをFVCの成長に提供する事で、企業価値の拡大を図って行きたいと考えております。

具体的には、当社が有する地域金融機関とのネットワークを活かし、中部地方を中心に未開拓エリアで、FVCと協力して地方創生ファンドの組成を目指します。

「地域密着型」投資会社である当社は、今回の投資を通じて、地方経済の活性化や地域貢献に取り組んでまいります。

また、2022年4月7日にFVCのホームページにてリリースされた「株主提案に関する書面受領のお知らせ」に掲載されている株主提案に関しましては、FVCがこれまで積み上げてきた収益モデルや地域金融機関、大企業との関係、VCとしてオリジナリティのあるポジショニングを捨て去り、株主価値を毀損させる提案であると判断致します。よって、当社と致しましては本提案に反対し、現経営陣を支持致しますことを表明します。

以上